

平成27年度 第1回 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 記録

日時：平成27年6月25日(木) 午後4時00分～

場所：校長室 記録者：羽鹿(本校首席)

配付資料一覧

- 1 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 出席者名簿
- 2 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 実施要項
- 3 平成26年度 学校経営計画及び学校評価
- 4 平成27年度 学校経営計画
- 5 港南造形タイムス67号
- 6 大阪府立港南造形高等学校 広報ニュース
- 7 美術系大学短大合同説明会チラシ
- 8 家庭学習強化週間実施要領について
- 9 平成26年度学校教育自己診断アンケート結果
- 10 平成26年度授業アンケート結果
- 11 平成26年度進路状況一覧
- 12 意見書についての保護者通知文
- 13 平成28年度使用教科用図書選定理由書

1. 学校長挨拶

挨拶の中で取り上げた内容

- 中学生が本校を選ぶきっかけをアンケートで尋ねた結果、やはり中学校の(美術)先生の紹介が多かった。今年度も中学校を積極的に訪問したり、学校説明会などでアピールしていきたい。(別紙資料 6, 7参照)
- 今春、国公立美術系大学進学者数が現役で15名、1浪を含めて20名となった。
- 本校HPの「港南造形タイムズ」のページについては、より親しんでもらえるようにブログ形式に変えようと思う。
- 本校に赴任してきて初めての体育祭が先月末(5月29日)にあったが、各競技、応援合戦、各団のマスコットの制作、衣装の制作などに生徒たちが一生懸命取り組んでいて感動した。(別紙資料 5)

参照)

- 新1年生から始めた芸術鑑賞行事は徳島県の大塚美術館の鑑賞とした(4月28日)。バスを利用した日帰りの取り組みであったが、専門高校の生徒として早い時機に美術館鑑賞のマナーや態度を身につけるのは大切なことと考える。(別紙資料 5参照)
- すでに、2・3年生合同で土曜日の午後にデッサン講習会が始まっている。(午前中は3年生の学科講習会)(別紙資料 5参照)
- 全国美術系大学・短大合同説明会(6月13日)は27の大学・短期大学(資料参加を含めると42)の参加があり、説明会参加者は451名と盛況であった。
- 体育祭前から生徒会が中心となり、生徒が自主的に学校の外回りの清掃を始めた。週に1度、2度でも続いていけばと思う。

2. 学校協議会の役割について

別紙資料2「大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 実施要項」参照

- 第一条 大阪府立学校条例第十二条第1項の規定により、保護者などとの連携協力、学校の運営への参加の促進及び保護者の意向の反映のため、学校の運営に関する協議会(以下「協議会」という。)を置く。
- 第三条3 委員の任期は2年とし、原則2回までは再任できるものとする。
- 第六条7 会議の記録を作成し、会議資料とともに保存する。会議の記録は、広く府民に公開する。ただし、個人のプライバシーに関する情報等についてはこの限りでない。

3. 委員自己紹介及び事務局自己紹介

別紙資料1「出席者名簿」参照

4. 会長選出及び会長挨拶

(司会) 実施要項第四条(委員の互選により会長を置く)により、昨年に引き続き桑田芳治様に会長をお願いしたい。

(全員) 異議なし。

(会長) 会長就任の挨拶。

(司会) 次の5、協議及び6、報告は会長の司会進行でお願いします。

5. 協議

(1) 平成 27 年度学校経営計画について

(校長) 「平成26年度 学校経営計画及び学校評価」(別紙資料3参照)について昨年度いただいたご意見を踏まえて平成27年度 学校経営計画を作成した。(別紙資料 4参照)

(校長) 以降、別紙資料 P6~7 「平成27年度 学校経営計画及び学校評価」を参照しながら詳細説明。裏面には、目標達成のための具体的手段の内容と評価指標を示した。また、家庭学習強化週間実施要項について説明。(別紙資料 8参照)

(委員) 昨年までの1年生で実施していた「宿泊行事」をやめて、日帰りの美術館鑑賞にしたのはなぜか？

(事務局) 例えば、予算がなくなったからとか、1年生の春は忙しいからとかではなく、宿泊行事を3年間続けてきたことを踏まえ、それを発展した形として取り組もうとしている。先ほどの「家庭学習強化週間」もそのひとつだ。また、造形を志す生徒たちにとって教科学習の大切さを知らしめることも狙いの一つであったが、保護者の費用負担の大きい「宿泊」にしなくても、日常の授業の中で説明することができると思った。専門高校の生徒になるにあたって美術館でのマナー等、制作するだけでなく他人の作品を鑑賞する態度も身につけて欲しいと考えた。

(委員) 大塚美術館鑑賞の事前学習や当日の学芸員の解説などは？

(事務局) 大塚美術館の学芸員に来校いただき講演をしていただく計画をしたが、美術館が今年度より制度を変更されたので実現しなかった。そこで、事前学習は本校内部で鑑賞のポイントやマナーについて行った。当日は美術館のご好意で「西洋絵画300選」(423ページ・カラー)を生徒全員に頂いた。詳しい解説を読みながら振り返ることができると思う。

(委員) 3年生の「課題研究(卒業制作)」が4単位から6単位になったようだが？

(事務局) 単に制作時間を1.5倍にしたということではない。もちろん作品のレベルアップも目標だが、3年生全員による合同展であるから、展覧会準備・運営・図録・広報等を生徒全員が意識できるよう授業の中で取り組んだり、自らの作品についてプレゼンテーションできる能力の育成などにも時間を使いたい。

(委員) 今春の定員割れの問題は？ 思い切って入学定員(200名)を減らすことも考えられるのでは？

(事務局) 新入生を迎えて2ヶ月半たったが、定員割れによる問題は感じていない。入学した生徒たちは昨年度までと同じ熱心さを見せている。

(委員) 中学校の美術の教員が常勤でないところも増えてきている。中学の美術の先生が港南造形を知らない場合もあると思う。

(事務局) 中学校への学校訪問数を増やすなど広報活動をさらに進めたい。

6. 報告

(1) 10 期生の進路状況について

別紙資料11 「第10期生(平成27年度入試)進学・就職先一覧」参照

(進路指導主事) 進路指導主事より進路状況についての報告。

- 国公立大学進学人数15名。1浪生を含めると20名であった。
- 美術系私立大学進学人数80名、短期大学5名、短大を希望している生徒が少ない。
- 学校斡旋就職希望者は8名、全員合格した。等

(2) 「意見書」の様式の配付について

別紙資料12 「教員の授業その他の教育活動に関するご意見について」参照

(教頭) 詳細説明。

(3) 平成 28 年度使用教科書の選定作業について

別紙資料13 「平成28年度使用教科用図書選定理由書」参照

(教頭) 詳細説明。

その他

(委員) 図書室にもっと本を増やすため、PTA からの寄贈を考えたい。

7. 事務連絡

次回は 10 月に第 2 回実施予定(詳細は追って連絡差し上げます)